

第32回広島市立広島特別支援学校小学部・中学部卒業証書授与式
校長式辞

正門の桜の木を見ると、芽がずいぶん膨らんできました。春の足音が聴こえてくる本日。小学部第6学年16名、中学部第3学年34名の卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。心からお祝いします。体育館に入場した皆さんの姿は、とても輝いて見えました。卒業証書を受け取る態度も立派でした。本校で、自分の力を最大限に発揮できるよう一生懸命勉強された成果です。

卒業生、在校生の皆さん、ここで、保護者の皆様やお客様にお礼を言いますから少し待っていてください。

保護者の皆様、本日は、お子様の御卒業おめでとうございます。産声をあげてから今まで、様々な出来事がしみじみと思い出され感慨もひとしおのことと思います。保護者の皆様が注がれてきた深い愛情と、並々ならぬこれまでの御苦勞に敬意を表します。引き続き、本校に対しまして厚い御支援や御協力をお願いします。

また、御来賓の皆様におかれましては、御多用の中、御臨席を賜り誠にありがとうございました。日ごろから温かく見守っていただき、支えていただきましたことに心より深くお礼申し上げます。

さて、本校の児童生徒の目標は、「明るく、元気に、たくましく」です。卒業生の皆さんが頑張ってきた「明るく、元気に、たくましく」について、思い出を振り返ってみます。

初めに、小学部6年生です。1年生の頃から取り組んできた朝の「体づくり」です。雑巾掛けやバランスボールを使った運動をしたこと、ストレッチや歩いたりする運動をしたことなどが思い出されます。毎日続けて、元気に活動する力が育ちました。4年生での校内宿泊学習や5年生での野外活動、6年生になっての修学旅行。ルールやマナーを守り、友達みんなで力を合わせてやりきったときの明るい笑顔は忘れることができません。6年生のときの運動会、テントの下では、席を離れることなくきちんとした姿勢で他の学年の応援をしていました。何よりも応援団では、最高学年としてリーダーとなり、たくましく応援演技をしました。この6年間で16名全員が大きく成長する姿を見ました。

次に中学部3年生です。四国方面への修学旅行。見学先で遅れる友達を待ったり、励ましたりしました。友達を大切に、助け合うやさしく明るい心が育ちました。毎日続けたランニングやストレッチ。歩くことが難しかった生徒も長く歩けるようになり、長い距離が走れるようになった生徒もいました。元気に生活する体力がつけました。文化祭での和太鼓演奏は見事でした。何度も繰り返し練習しました。最初、ばらばらだった音も練習を重ねて一つになってきました。根気強く続けることでたくましい力と心が育ちました。また、3年間続けた作業学習では、作業手順を知り、道具の使い方を学習し、友達と協力して立派な製品や食品、作物を作ることができ、たくましく働く力が身に付きました。

終わりに、中学部、高等部に進学する私の自慢の皆さん、さらに「明るく 元気に たくましく」を目標に、夢と希望に向かって歩んでください。これからも、一層の応援をすることを約束し、私の贈る言葉とします。卒業、おめでとう。

平成27年3月13日

広島市立広島特別支援学校長 中尾秀行